

作成日：2024年7月30日（第1版）

西暦2023年1月～2024年5月に消化器外科手術を受けて High Care Unit（HCU）病棟に入室し、医療用麻薬で鎮痛を行った患者さんへ

「全身麻酔の消化器外科手術後における病棟看護師が聴取する NRS（Numerical Rating Scale）と

術後回診チームが聴取する NRS の比較に関する後方視的研究」へのご協力のお願い

## 1 研究の概要

### 【研究の背景・目的】

手術後の痛みの強さは、患者さんによって大きく異なります。医療従事者が患者さんの痛みの強さを把握するためには、同じ評価スケールを用いる必要であり、当院では NRS（Numerical Rating Scale）でお聞きしています。NRS は患者さんが感じている痛みを数字で評価するスケールです。0 が痛みなし、10 が想像できる最大の痛みとして、0～10 の 11 段階に分けて、痛みの程度をお聞きします。

手術後の痛みをなるべく少なくして、早期回復を目指すためには痛みの強さに応じて適切な鎮痛薬の使用が推奨されます。そのため、患者さんの痛みを正確に NRS で把握したいと考えています。

当院の周術期ケアセンターの一部として、術後回診チームが活動しています。麻酔科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士で構成され、術後患者を専門とするチームです。手術の後には、術後回診チームが患者の元へ回診して術後の痛みを NRS でお聞きしますが、カルテに記載されている病棟看護師が聴取した NRS とチームで聴取した NRS が異なる患者さんがいます。患者さんの痛みの程度を正確に把握できていない可能性があります。

この研究の目的は、病棟看護師と術後回診チームといった役割の異なる医療従事者が聴取した際の手術後の NRS の違いを調べることです。

### 【研究の対象となる方】

2023年1月16日から2024年5月31日までの期間に当院で全身麻酔で消化器外科手術を受け、術後に医療用麻薬（フェンタニル注）による鎮痛が行われた患者さんを対象とします。

### 【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合は、2024 年 12 月 31 日までにご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等には、あなたの情報を取り除くことができません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

## 2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集し、病棟看護師が聴取した NRS と術後回診チームが聴取した NRS の違いについて解析します。

この研究で集めた情報は、将来当院で、患者さんが答える NRS に関する研究に使用することが予想されます。その場合は、改めてその研究の研究計画書について倫理審査委員会に意見を聴き、研究機関の長の許可を得たうえで研究を行います。また、その研究に用いる際には、研究についての情報を下記の Web サイトに公開します。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “臨床研究に関する情報公開について”】

[https://ncu-cr.jp/patient/clinical\\_research/clinical\\_research\\_cont-2](https://ncu-cr.jp/patient/clinical_research/clinical_research_cont-2)

## 3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、以下の診療情報を利用します。

- ・年齢、性別、身長、体重、併存疾患、術前診断、術式、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、術前の鎮痛薬、術前の NRS
- ・病棟看護師が手術翌日の AM6 ~ 12 時に聴取した NRS
- ・術後回診チームが手術翌日の AM9 ~ 12 時に聴取した NRS
- ・手術後 ~ 手術翌日に投与された医療用麻薬(フェンタニル注)の処方量
- ・手術翌日の AM0 ~ 12 時に投与された鎮痛薬(アセリオ静注液、ロピオン静注液、カロナル錠、ロキソプロフェン錠)の投与回数と投与時刻

## 4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：名古屋市立大学病院薬剤部 榊原諒子

## 5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する情報を削り、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

## 6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

## 7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

### 【連絡先】

名古屋市立大学病院薬剤部

電話番号： 052-851-5511

(対応可能な時間帯) 平日 8時30分から 17時まで

対応者： 榊原諒子